



第30回 薬物動態談話会セミナー

会期：2026年8月26日(水)～8月28日(金)

薬物動態研究の新展開

～評価法の深化・ニューモダリティ・AIが描く未来～

セッション1：ADME評価革命

：MPSとイメージング質量分析が切り拓く次世代評価

組織委員：協和キリン 榎園 淳一、住友ファーマ 渡邊 貴夫

生体模倣システムの医薬品の研究開発への実践的な活用

アステラス製薬 手塚 和宏

創薬研究における空間薬物動態の可視化とバイオマーカー開発
：イメージング質量分析の可能性と課題

塩野義製薬 田中 由香里

セッション2：ADMEの“ものさし”をアップデート

：中分子化合物から学ぶ体内動態の見方

組織委員：中外製薬 永易 美穂、アステラス製薬 野沢 敬

解古創新～低分子プラットフォームの追求と解体から見える次世代ADME評価～

中外製薬 櫻井 裕治

絶対に負けられない予測戦略が、そこにはある

昭和薬科大学 白坂 善之

～環状ペプチドの経口吸収動態予測に挑む～

セッション3：ADME予測の新潮流

：AIと実験データの融合による次世代アプローチ

組織委員：塩野義製薬 坂本 真吾、第一三共 渡邊 伸明

医薬品関連データの表現学習：潜在空間から何が見えるか

東京大学 水野 忠快

Biomimetic Chromatographyおよび機械学習を活用した
ADME予測の取り組み

塩野義製薬 俣田 秀章

特別講演1：「AlphaFold時代の動的構造生物学：タンパク質の状態・動態をNMRで可視化する」

徳島大学 齋尾 智英

特別講演2：「次世代創薬標的は薬物動態をどう変えるか？」

金沢大学 中島 美紀

会長講演：「尿酸調節機構と尿酸排泄促進薬」

薬物動態談話会会長 玉井 郁巳

ラウンドテーブルディスカッション

本セミナーでは、より広く、深く、医薬品開発および薬物動態を学んでいただくことを目的として、今回もラウンドテーブルディスカッションを実施いたします。また、意見交換会や懇親会を通じて、アカデミア&企業の著名な先生方と、気軽にお話しできる場も用意いたしますので、ぜひご参加ください！

会場：東レ総合研修センター（静岡県三島市）

参加費：42,000円（宿泊、食費込、参加は会員会社限定）

参加登録は薬物動態談話会HP、会員専用サイト <https://danwakai.jp/>より